

農学委員会 応用昆虫学分科会 (第 25 期・第 2 回) 議事要旨

日時：令和 4 年 1 月 24 日(月) 13:00~15:00

場所：オンライン会議 (Zoom)

出席者：阿部芳久、池田素子、小野正人、高田まゆら、天竺桂弘子、沢辺京子、
塩尻かおり、志賀向子、嶋田透、大門高明、沼田英治、深津武馬、
吉永直子

欠席者：辻和希

議題

- (1) 提言または報告「日本の高等教育における昆虫学教育のあり方（仮）」
について
- (2) 日本学術会議と日本昆虫科学連合の共催公開シンポジウムについて
- (3) 日本昆虫科学連合の活動の報告
- (4) 国際昆虫学会議(ICE2024Kyoto)について
- (5) その他

配布資料

- 【1】 応用昆虫学分科会 委員名簿 (第 25 期 2021-1 現在)
- 【2】 応用昆虫学分科会 (第 25 期第 1 回 2020-12-28) 議事要旨
- 【3-1】 公開シンポジウム「インセクトワールド -多様な昆虫の世界 II-」
(2021-06-26) 事後報告
- 【3-2】 公開シンポジウム「ムシを極める！昆虫分類学のフロンティア」
(2022-06-18) 開催概要
- 【4】 日本昆虫科学連合の活動報告
- 【5】 国際昆虫学会議(ICE2024Kyoto)組織委員会活動報告
- 【6-1】 令和 2 年度全国農学系学部長会議 学部長名など一覧 (全国農学系学部長会議 2021-01-04 ダウンロード)
- 【6-2】 報告「農業経済学の学部教育のあり方」(農業経済学分科会 2019-3-13)
- 【6-3】 日本学術会議第 183 回総会資料 (抜粋)・会則改正
- 【6-4】 昆虫学に関する講義科目 (学部) (名古屋大・九州大・玉川大)
- 【6-5】 昆虫学に関する講義科目 (大学院) (名古屋大・九州大・玉川大)
- 【6-6】 第 25 期応用昆虫学分科会_情報の発出 (案)
- 【7-1】 提言「衛生害虫による被害の抑制をめざす衛生動物学の教育研究の強化」
インパクトレポート
- 【7-2】 令和 4 年度代表派遣会議推薦書・調書

議事

応用昆虫学分科会を構成する 14 名中 13 名の出席により、第 2 回分科会の成立要件が確認された後、定刻通り開会された。議事に先立ち、委員会名簿(資料[1])および前回議事要旨(資料[2])が確認された。

(1) 提言または報告「日本の高等教育における昆虫学教育のあり方(仮)」について

資料[6-3]に基づき、池田副委員長より、日本学術会議の会則改正により、意思の表出に「見解」が追加された旨の報告がなされた。分科会での議論の結果、「日本の高等教育における昆虫学教育のあり方(仮)」は見解または報告としての表出を目指す方針が確認された。

資料[6-4, 6-5, 6-6]に基づき、小野委員長より、昆虫学に関連する学部科目、大学院科目のシラバス収集の方針が示された。議論の結果、まずは各委員の所属する機関において広くシラバスを収集し(農学部/研究科以外の学部/研究科も含む)、その内容を分析した上で、今後の他大学でのシラバス収集方針を策定することとなった。

(2) 日本学術会議と日本昆虫科学連合の共催公開シンポジウムについて

資料[3-1]に基づき、志賀委員(日本昆虫科学連合代表)より、昨年開催された公開シンポジウム「インセクトワールド ―多様な昆虫の世界 II―」(2023-06-26)の事後報告がなされた。続いて志賀委員より今年開催予定の公開シンポジウム案「ムシを極める!昆虫分類学のフロンティア」(2022-06-18 開催予定)についての説明がなされ、本分科会が共同主催しての開催案が承認された。

(3) 日本昆虫科学連合の活動の報告

資料[4]に基づき、志賀委員より、昆虫科学連合の 2020 年度事業報告および 2021 年度事業経過報告がなされた。

(4) 国際昆虫学会議(ICE2024Kyoto)について

資料[5]に基づき、志賀委員より、国際昆虫学会議(ICE2024Kyoto)組織委員会の進捗および今後のスケジュールが報告された。

(5) その他

資料[7-1]に基づき、小野委員長より、提言「衛生害虫による被害の抑制をめざす衛生動物学の教育研究の強化」のインパクトレポートについて報告された。

資料[7-2]に基づき、池田副委員長より、小野委員長を **2022** 年 7 月に開催予定の第 26 回国際昆虫学会議 (ICE2022Helsinki) に派遣するために、日本学術会議の「国際会議への代表派遣」制度に応募した旨の報告がなされた。

嶋田委員より、第 27 回国際昆虫学会議 (ICE2024Kyoto) を日本学術会議の「共同主催国際会議」として申請する旨の提案がなされ、議論の結果、承認された。

以上